東洋エンジニアリング株式会社
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-8-1
Tel: 047-454-1113　Fax: 047-454-1160

News Release

ナイジェリア大型肥料プラント 受注内定

2012 年 12 月 4 日
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社（TOYO、取締役社長　石橋　克基）と、韓国 Daewoo グループのナイジェリア法人 Daewoo Nigeria Limited は、このたびインドラマグループ*が、ナイジェリア連邦共和国リバース州に建設する世界最大級の肥料プラントプロジェクトの発注内示書を受領いたしました。インドラマグループのナイジェリア法人に対して TOYO は、2011 年 10 月から FEED 業務(基本設計の一部とコスト積算サービス)を実施し、技術力とプロジェクト計画力が評価されたものです。TOYO の契約範囲は、尿素ライセンス供与、肥料プラントの基本設計・詳細設計・調達と試運転で、Daewoo Nigeria Limited は建設工事を請負います。なおプラントは 2015 年末のスタートアップを予定しています。

本プロジェクトは、日産 2,300 トンのアンモニアプラント、同 4,000 トンの尿素プラントとユーティリティ設備で構成される大型肥料プラントを建設するものです。なおアンモニアは米国 KBR、尿素は TOYO のプロセスが採用されています。

本プロジェクトに適用される TOYO の尿素合成技術「ACES21®」と大粒造粒技術は、建設費とユーティリティ消費量の低減に秀でており、現在までに世界中で ACES21®　9 プラント、大粒造粒技術 22 プラントに採用されています。TOYO は尿素技術のライセンサーであると共に、肥料プラントの EPC コントラクターとして世界トップクラスの実績があり、現在もベネズエラおよびインドネシアで肥料プラントの EPC プロジェクトを遂行中です。本プロジェクトは TOYO にとってナイジェリア初のプロジェクトです。

プロジェクト概要

- 客　先:　インドラマ・エレメ肥料会社（Indorama Eleme Fertilizer and Chemicals Limited）
- 受注者:　東洋エンジニアリングと Daewoo Nigeria Limited の共同受注
- 建設地:　ナイジェリア連邦共和国　リバース州　ポートハーコート地区、客先石化製造設備内
- 対象設備:　アンモニアプラント（日産 2,300 トン、米国 KBR 技術）
  尿素プラント（日産 4,000 トン、TOYO 技術）、 ユーティリティ付帯設備
- 役務内容:　尿素プラントのライセンス供与、対象設備全体の設計、機器資材の調達、試運転までの一括請負
- 完成予定:　2015 年末

*) インドラマグループ: ポリエチレン、ポリプロピレン、繊維などを製造するインド系グローバル企業で、タイの証券取引所に上場し、PTA、PET やポリエステルを製造する世界最大級の化学メーカー。
インドラマ・エレメ石油化学会社: ナイジェリア政府の民営化政策のもと 2006 年にインドラマがナイジェリア政府などとともに買収した現地法人。ポートハーコートにて現在オレフィンを製造し、製品は全量政府が引き取っている。

＜お問い合わせ先＞ 広報・IR 室［担当:佐藤、深沢］ Tel: 047-454-1113